

評価にかかわる各項目の考察を次のように報告いたします。

項目	評価番号	考 察
学校経営	1	校長がリーダーシップを発揮し、全職員が学校の教育目標の具現に向けて一生懸命教育活動に取り組んでいる。
	2	活気ある学校づくりに取り組んでいることが、保護者アンケートの「学校生活が楽しい」という結果から分かる。ほんのわずかであるが、学年差が見られるのでどの学年もわずかな差がないように取り組んでいく。
	3	校舎内外の安全に関する整理・整頓がよく図られている。家庭・地域と連携を密にして危機管理体制の強化を今後図っていく。
	4	地域・PTAと連携を密にした1000周年記念行事が行われた。こうした連携を更に充実させていくためにも「福祉運動会」「ふれあい三世代」「子どもの意見を聞く会」等の活動の成果を教育活動に位置づけ質の向上を目指していく。
研修	5	計画的に研修が実践されている。来年は学習指導要領の全面実施や学習評価に関する研修に重点を置いた研修を展開していく。
	6	静里小校区幼保小連絡協議会を発足した。今後この協議会を充実させ幼・保・小の交流を深め一貫性のある指導に努める。
教科指導	7	月ごとの学習のめあてや学習の決まりを指導しているが、確実に定着するために見届けに重点を置いた指導に努める。
	8	具体物や工夫された教材を利用した授業が多く展開されている。今後習熟度別指導を積極的に導入し、わからないままいる児童に対して決め細かな指導にあたる。
道徳教育	9	各活動(地域と連携した活動)に主体的に取り組ませることが大切である。そのために、その活動に向けて事前・事中・事後の指導や道徳の時間等、効果的に位置づけていく。
総合学習	10	各学年の目標や内容は明確になっている。来年時数が減る学年は内容を吟味し計画を練るとともに、他の学年は実践の質を高めていく必要がある。
生徒指導	11	地域と各種団体と連携した生徒指導に関する行動が増えている。今後PTAや各団体での活動が連携できるような体制になるように働きかけていくことが大切である。
	12	定期的な悩みアンケートや、日ごろの観察などを通して教育相談の充実に努めている。今後、さらに相談しやすい学校体制を創っていく。
進路指導	13	体験活動だけで終わっているので、勤労観・職業観を意識した指導を仕組む。また、日常の掃除や係り活動にもこの観点をもって指導にあたる。
健康教育	14	県・市から歯の優良校に選ばれたことは、日ごろの健康教育の成果である。来年「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」の県指定を受けた。歯を中心にした指導を充実させるとともに、日ごろの健康に関する活動にも力を入
特別支援教育	15	コーディネータを中心にケース会議や研修会を計画し、特別支援についての見識を深めている。